



2011年全定例会が終了。

2011年4月24日の初当選・初議会より、三回の定例会が行われました。今回の市政報告は、この間にあった主なことをご紹介します。

放射線量測定が開始されました。

3月11日に起こった東日本大震災による、福島第一原子力発電所の事故で放射性物質が流出するという未曾有の重大事故が起き、私たちの住む府中市にも例外なく放射性物質は降り注ぎました。

東日本大震災後の6月に開かれた第2定例会では、防災だけでなく放射能物質への対策も大きく取り上げられ、市民の皆さんの安心・安全のため、私たち市民フォーラムは放射線量の独自調査を訴えました。府中市としても「府中市節電・放射能緊急対策本部」を設立し、東京都と連携をしながら、独自に放射線量の調査を行う方針をとりました。

現在、府中市では様々な測定を行っており、放射線量が問題のない値であることが確認されております。詳細は府中市広報、または府中市HP

(<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>) を御覧ください。今後も市民の皆さんの安心・安全を守るためにしっかりと訴えていきます。

*空間放射線量測定器の貸出しに関して
府中市では市民の皆さんが身近な場所の空間放射線量を測定できるように、空間放射線量測定器の貸出しの申込みを次のとおり開始しました。

貸出期間：平成23年11月22日～
平成24年3月30日

貸出場所：文化センター(11か所)
貸出日時：月～金曜日 午前8時半～午後5時
(祝日、文化センター休館日を除く)

貸出対象：市内の自治会・市民で構成された団体
及びグループ

貸出機器：HORIBA Radi PA-1000
申込み方法：貸出しを希望する文化センターへ
電話・窓口で、事前に貸出日を予約してください。

詳しいお問い合わせは、環境安全部環境政策課
(042-335-4196) までお願い致します。

事務事業点検が始まりました。

7月30日、31日に平成23年度府中市事務事業点検(事業仕分け)が行われました。

今年は全40事業の点検が公開の場で行われました。引き続き平成24年、25年にも実施予定であり、計120もの事業が点検をされます。

私たち市民の税金がどの様な考えのもとでどの様に使われるのか、私たちの目の前で客観的な視点から紐解くことにより私たち自身がしっかりと行政を監視できることとなります。

傍聴に来られた市民の皆さんからも「私たちの税金がどの様に使われているのかが分かって良かった」「市政が身近に感じられた」といったご好評の声を頂きました。

一方で、傍聴にいらした方の総数が二日間で201人。必ずしも多いとは言えません。もっと多くの市民の皆さんに関心を持って頂き参加して頂くことが、府中のまちづくりの一步になります。

24、25年度の事務事業点検には皆さんも是非ご参加下さい。

府中市事務事業点検評価区分と点検結果

- 不要とする事業:0件
(事業を廃止すべきと判断された事業)
- 再検討・見送りとする事業:10件
(事業のあり方をゼロベースで見直し、廃止や統合も含めて検討、今のままなら不要のいずれかに判断された事業)
- 国・都・広域において実施すべきとする事業:0件
(国・都・広域のいずれかにおいて実施すべきと判断された事業)
- 市が実施するが改善を必要とする事業:27件
(事業費を縮減・かつ内容を見直し、事業の一部廃止、事業費は現行通りで事業内容を見直しのいずれかに判断された事業)
- 現行通りとする事業:2件
(事業内容は現行通りで事業費の縮減、事業内容・事業費ともに現行通り、事業内容は現行通りで事業費は拡充のいずれかに判断された事業)
- 評価対象外とする事業:1件
(新制度移行のため評価対象外となった事業)

一般質問

下記の通り一般質問を行いました。

第2定例会（6月8日）

- 安心・安全な府中の「食」のために
市がきちんと独自で放射線検査をすることにより、市民の皆さんの安心・安全を守るだけでなく、府中市は安全だということを市内外に周知することが府中市のブランド価値を上げることに繋がる。そのため、東京都による検査（農工大での空間線量測定や一部農作物の検査）だけでなく、市独自の検査を行うことを要望しました。



6月に行われた市内小学校の放射線量測定

第3定例会（9月7日）

- 平成23年度府中市事務事業点検を終えて
 - ・より一層の事前告知をして、ネット中継等を活用して市民がもっと参加出来る仕組みを取り入れるべきだ。
 - ・行政の活動量が事業目標になっているという指摘もあり、行政運営を「成果志向型」へと意識改革として取り組んでいくべきだと要望しました。
- 安心・安全な府中のためにー放射線量の測定に関してー
今後も市としての測定は行い、同時に、導入した簡易測定器を市民の方にも貸し出し、行政が手の届かない所をカバーして頂きながら、共に安全を確保していくべきだと要望しました。

第4定例会（11月29日）

- 第6次府中市総合計画に関して
 - ・市の最上位計画である総合計画への認識が市民に不足している。市民が積極的に街づくりに参加する仕組み作りを進めて欲しい。
 - ・目的と手段の設定を明確にし、成果志向型で実現性をもった計画で、その達成状況を見直すことのできる定期的な点検を義務化する様に要望しました。

今後も市民の皆さんからご意見を伺いながら、市民が積極的に参加できる、自律的な街づくりを目指して活動をして参ります。



市議会議員・須山たかし プロフィール

1980(昭和55)年11月6日生まれ。
府中市晴見町育ち・在住。 明星幼稚園、桐朋小・中・高校、早稲田大学社会科学部卒業。早稲田大学大隈塾一期生。
民間の特許事務所に3年半勤めた後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。
蓮舫(れんほう)参議院議員の秘書を務めた後、2011年府中市議会議員に初当選(⑤2940票)。

再開発特別委員会副委員長 建設環境委員会委員
市民フォーラム所属

ご意見等ございましたら、下記メールアドレスまでご連絡下さい。

suyama1980@gmail.com